

「中部の湖」活用マップ

AB3 振り返りは何のため？

津野町立中央小学校

R4. 5. 25
校長

授業で児童が行う『振り返り活動』

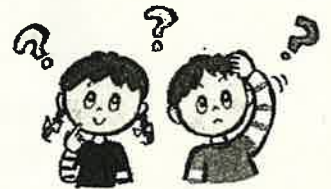
児童が授業での経験を自分なりに解釈する行為

➡ 一人一人の学びを深める行動

形だけの振り返りになってませんか？

形だけになりがちな要因は何でしょう？

- ① 振り返りを書く時間が足りない。
- ② 児童には「振り返りをなぜ書くのか？」が分からない。
- ③ 振り返る観点がない。書き方が分からない。
- ④ 他者から評価されるのではないかとの思いがある。



『振り返り』の活動を全員の児童の『より深い学び』につなげるために、
児童の『やる気』を引き出そう。

* 4つの課題解決で児童の学びを深める振り返りを進めよう。

◯ << 課題 >>

① 振り返りを書く時間が足りない。

振り返りの時間の確保には、授業者のタイムマネジメントが必須。しかし、5分程度の時間確保だけでは、特に支援を要する児童にとって、中途半端な振り返りで終わりがちではないか？

➡ 【 振り返りパターンを組み合わせる 】

- A. 毎回の授業で行う振り返り
 - B. 単元の間で行う振り返り
 - C. 単元の終わりに行う振り返り
 - D. 友達の振り返り文の一覧等から学ぶ振り返り
- 等

* 別紙参照

❖『深い学び』を整理するために、その活動を次につなげるために、じっくりと時間をとり、一人一人が自分の学びに向き合う時間確保が必要だ。

② 児童に「振り返りをなぜ書くのか？」の目的意識がない。

子どもに言葉だけで理解させるより、日々「振り返り」のよさを体感させる機会を持つ。

➔『一人一人の「振り返り文」を評価する。授業者はその内容の変化を読み解く。』

評価…ある事物や人物について、その意義・価値を認めること。

評定…一定の基準に従って、価値・等級などを決めること。

*別紙参照

*45分の授業の中で、児童の頭の中には、たくさんの情報がいっぱい入った状態

意識化・言語化されず何となくこうだったで終わらせないために・・・

「振り返り」は、脳の中がぐちゃぐちゃな状態（知識・友達の意見）を整理整頓し、次の時間に向けて、自分にとってどんな意味や価値があったのかを考え、整理し、新たに捉えなおすことで、学びを自分のものとして価値づけ捉え直せる時間、新しい自分発見の時間ではないか。



③ 振り返る観点がない。書き方が分からない。

*中央小の観点

*授業（ねらい）に沿った観点（事実・変化・比較等）

*書き方（全員がすぐに取り組める手立て必要）

*別紙参照

【 中央小：書くプロを目指せ！！！！ 】

- ① 今日の学習で分かったこと
- ② これまでの学習とつながっていること
- ③ 友だちから学んだこと
- ④ 自分の生活とのつながりや自分の考え
- ⑤ 話す・聞くプロレベル



④ 他者から評価されるのではないかとの思いがある。

「この授業のねらいがこうだから、それっぽいことを・・・」では、せっかく自分の学びになる時間ももったいない。

- ➡ 指導者は、まずは、児童の言葉を受容し、その取り組みそのものを認めよう。
- ➡ 振り返りの取り上げ方には、その意味・配慮が必要だ。
- ➡ 授業者には、振り返り文の内容や変化を読み解く力が必要である。

授業者は、学級児童の振り返り文から、一人一人の学びのとらえを知り、自分の授業に取り入れよう。 ➡ 子ども達の主体性を育もう

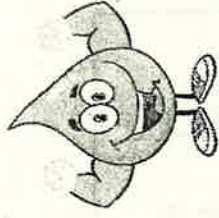
主体性 = 本気・根気・集中力を高めることができる子ども

自分のふり返りを書こう！！

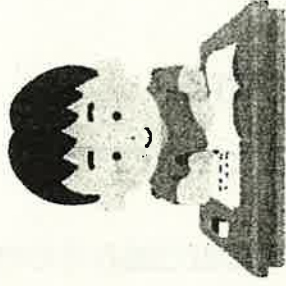
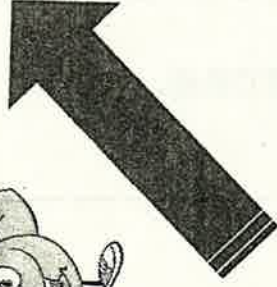
- ◆ふり返りは、みんなの成長記録。
- ◆今日の自分の『学び』残そう。
- ◆次の中から、3つのキーを使って書いてみよう。

今日のじゅぎょうでは、

- ① みかたカアツ ➡ ○○に目をつけて*○○の見方で
- ② ひらめきカアツ ➡ ○○とくらべて*まとめて*わけて*○○とつなげて
- ③ なかまカアツ ➡ ○○さんの意見で*○○さんは
- ④ のびたカアツ ➡ わかるように(できるだけ*前とくらべて
- ⑤ はてな(?)カアツ ➡ わからないのは*○○に疑問を持ちました
- ⑥ みらいカアツ ➡ これからは、○○してみよう*つぎの時間には、○○



じゅぎょう後



じゅぎょう前

第2部 校内研

1. (自) 『振り返り』 についての振り返り (5分)

*ワークシートに書く。



2. (友:ゼ) ブロック内の意見交流 (10分)

(お) おなじところは (に) にていているところは (ち) ちがうところは

3. (友) 発表 (3分×2グループ: 6分)

4. (自) 話し合い、発表後の感想 (5分)

5. 『振り返り』 はなぜ必要か? その理由 (25分)

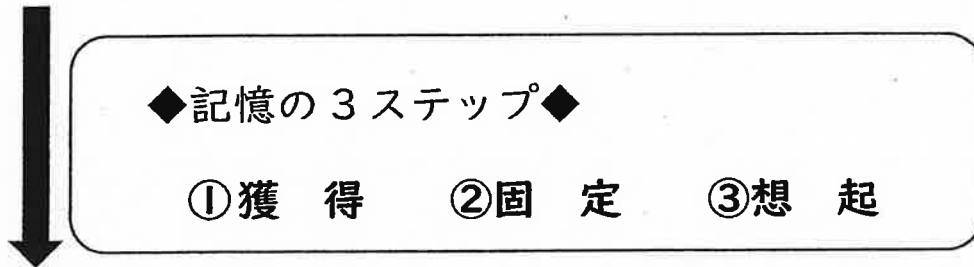
6. (ま) 全学年が『振り返り』 を当たり前にする取組スタート! (5分)

- 『振り返り』 で児童の力を伸ばす
- 『振り返り』 で児童の変容 (資質・能力) を見取る

脳科学の視点から見た『振り返り』

学習効果を考える上で『振り返り』は、とても重要なポイント！！

脳科学の観点からみると・・・。



- ❖ 情報を脳が獲得することからスタートする。
- ❖ 獲得した情報は、脳の中で繰り返し再生される。
- ❖ 想起「思い出す」という過程が大きなポイントになる。
- ❖ 一旦入れた情報を思い出すことで、記憶はさらに強固になっていく。



思い出す行為＝アウトプット＝『書く』・『話す』

子どもは、『今日の学び』で、できたことや重要なポイントを、ノートに書きだす（振り返り）。また、ペアになり、お互い理解したことを話し合うことで、今日、授業で学んだことが、より強固に記憶に定着され、学習効率を上げる。

『学習効果を上げていく』『記憶に定着をさせる』という観点で見ると、文章に書いたり、誰かに話すほうが、間違いなく学習効果を上げることになる。